

がん化学療法指示書

登録番号 296
作成日 2021/9/8

レジメン名	オラパリブ+Bmab療法(維持療法) (HRD陽性)
診療科・対象疾患	(婦)卵巣癌
投与間隔	3週毎
投与サイクル数	最長15ヶ月 (オラパリブは最長2年間服用可)

Chemo Navi

薬剤名	成分名	投与量	投与日
ヘバシズマブBS	ヘバシズマブBS	15 mg/kg	day1
リムパーザ	オラパリブ	600mg/日	day1から連日内服

	滴下順	抗癌剤	薬剤(成分名)	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール				
							day1	day21
治療内容	注射	Rp1	生理食塩液	100ml	任意	ルート確保・フラッシュ用	●				
		Rp2	癌	ベバシズマブBS	15 mg/kg	30分※	点滴静注メイン	●			
				生理食塩液	100ml		総量100mLにする				
	内服	リムパーザ(オラパリブ)カプセル 1回300mg、1日2回 連日内服 (副作用で適宜減量・休薬)									
その他必要薬剤											
総投与時間	30分										
血管外漏出リスク	ベバシズマブBS:非炎症性抗がん剤										
投与時の注意事項	※ベバシズマブBSの投与速度 初回投与の忍容性が良好であれば2回目の投与時間は60分、3回目以降は30分まで短縮できる (タキサン製剤・プラチナ製剤+Bmab療法時に著変なければ、初回から30分で投与可)										
備考欄	<ul style="list-style-type: none"> ・タキサン製剤・プラチナ製剤+Bmab療法完全寛解が得られた場合のみ本維持療法を行う。 ・相同組み換え修復欠損(HRD)陽性を確認すること。 ・リムパーザ(オラパリブ)100mg錠と150mg錠の生物学的同等性は示されていないため、300mgを投与するときに100mg錠を使用しないこと。 										